高齢者肺炎球菌ワクチン 予防接種事業について

八王子市

八王子市の概要

〇位置東京都心から西に40キロメートル



〇面積 186.31平方キロメートル

〇人口 (平成25年12月31日現在) 住民基本台帳人口 563,482人 65歳以上人口 130,715人 75歳以上人口 57,633人

高齢者肺炎球菌ワクチン 予防接種実施状況

• 事業開始 平成24年度

対象者 75歳以上で 初めて接種する方

接種場所 市内192医療機関 (八王子市医師会へ接種業務委託) • 自己負担額 4,000円

※接種時に医療機関へ支払う。

(接種費用8,000円のうち半額費用助成)

• 申込方法

書面(ハガキ等)による事前申込制 申込者に「予防接種助成券」を発行(郵送)

• 実施期間(平成25年度)

申込受付 平成25年6月3日~10月21日

接種期間 平成25年7月1日~10月31日

予防接種実績

```
【平成24年度】
```

申込者数 4,329件

」接種助成券発行 4,272件 対象外 57件

(対象年齢外55件 接種歴あり2件)

接種者数

接種3,645件 (75歳以上人口に対する接種率6.3%) 予診のみ 16件

※医療機関で接種歴が判明した者 19件

【平成25年度】

申込者数 2,917件

接種助成券発行 2,805件

対象外

112件

(年齢外53件 接種歴あり38件 その他21件)

※その他は、重複申請や申請後辞退など

接種者数

接種2,388件(75歳以上人口に対する接種率4.1%)

予診のみ 24件

※接種歴が判明した者 36件

(医療機関記録で判明18件 接種後予診票の質問項目から判明18件)

予防接種事業の流れ

- ①市民周知 広報(全戸配布)、ホームページ ポスター(医療機関、市施設)
- ②申込受付 ハガキ、窓口受付
- ③接種対象者の確認(予防接種システムを活用)

 - - 年齡
 - 接種歴(平成24年度助成接種の有無)

市広報 全戸配布

高齢者肺炎球菌ワクチン 予防接種のお知らせ

THE RESERVE AND ADDRESS.

高齢者(75歳以上)の方に鶏炎球菌ワクチン 予防接種費用の一部を助成します。

このサテナンをはじめて強いを国際特殊です。



研究は日本人の THE RESERVE OF THE PARTY OF THE

我可以我的什么一点一个孩女儿 強力確分(数別人)物理, 维多数处理证 ASSOCIATION AND VALUE OF 但2029年開發於12年4月20日A26日 世級協議人民學過去世以東北、北京 選組に他で的ないで見るな様行くでは **含むたちをいます。原因の開始が**からだ **非常,为可能可能需要的需要的企业** NAMES (ログミヤ 海難代謝を生ご) **美国的工作工程的工程的工程的工程的工程**的工程。 中心中的情况实施与13年间的。



A PROPERTY OF STREET, STREET,

おおの意思となる株式を行った事の名前であり、心臓能は1のながかります。 あるままのをになっ ていままもので、その職員はもその職権が国際人をでおり、およれの職員が置かったいはど職職の責任 刘朝主张从今心和这样的运动了。1987年在1月1日提出的时间集中来说的集团并将成功第二年与第四位分配。 **第四日へはリップで 7年 日本の日本の本本の本本です。また、日本の日本の日本ですが、日本の日本日本** (B. 15)(自由)(B. 15)(中央)(B. 16)(B. 15)(中央)

ウラナンを基準して予防しましょう。

田田田 弘一年記 1975人(1971)

とかずの実際は何見無難すず、本上が実施を攻撃する場合に振り行います。原理研究の一部は本人の展 (La sinia puntresia ita mang mengrupakan pengrupakan dalah menjada in menjada 日本本を意と知さり集たの必要の基础されます。

ごかできずから、1960年度では近江土地震が発展すると思いれたいでき、計算で発展等に対す場合。 Million of the contract with the same of the contract of the c LIGHT TEATHER STREET



- ④接種助成券発行(郵送)(予防接種システム)
 - •予約登録
 - → •予防接種助成券に該当者の 住所氏名等を印刷
 - ▪送付履歴登録(通知日)
- ⑤接種 (市内192医療機関)
 - 予防接種助成券の提出
 - ・予診票の記入(ワクチンメーカー製を使用)
 - → 接種歴の再確認 ⇒ 履歴ありは助成対象外 予診票の質問項目による確認 医療機関のカルテの記録確認
 - •接種済証を交付

- ⑥実施報告
 - 予防接種助成券及び予診票を市へ
 - ↓ 提出 (接種期間終了後)
 - 予防接種委託料請求
 - ・予診票の控えは医療機関保管
- ⑦予防接種記録の入力(予防接種システム)
 - 予防接種助成券の個人バーコードを読み取り
 - → 対象者を特定しデータを入力 ワクチン名、接種日、医療機関等
- ⑧接種委託料支払
 - ↓ ・実施医療機関ごとに口座振込
- 9完 了

予防接種記録の管理状況

- 予防接種システムにより予防接種台帳として 接種記録を管理。
- 高齢者肺炎球菌ワクチンの予防接種記録は、 種別、接種年月日、実施医療機関等を入力。
- 予防接種システムは、住民基本台帳システムと連動しているため、自動的に住民データが更新。

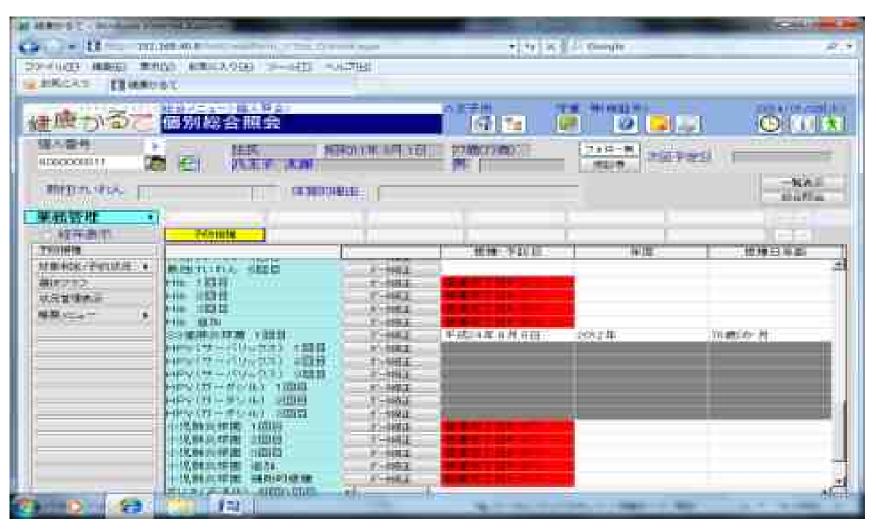
予防接種システム(画面サンプル)

【個人総合照会】住民情報と予防接種記録

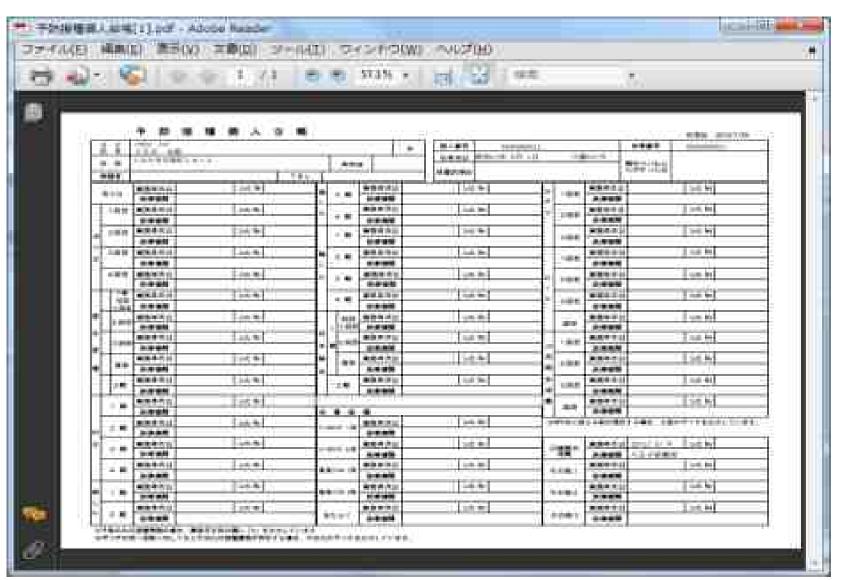


【予防接種台帳】

種別毎に接種日、接種年度、接種日年齢、実施医療機関、ロット番号、請求日、特記事項などの項目を管理



【予防接種台帳】帳票出カイメージ



高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種のシステム活用法 【対象者の確認】住民登録、年齢、接種歴



【予約登録】高齢者肺炎球菌ワクチンの申込者の登録、予約番号(連番)を自動付番



【予防接種助成券の出力】送付先の住所、対象者の氏名、生年月日、個人バーコードを用紙に印刷

く出力イメージ>

<予防接種助成券>





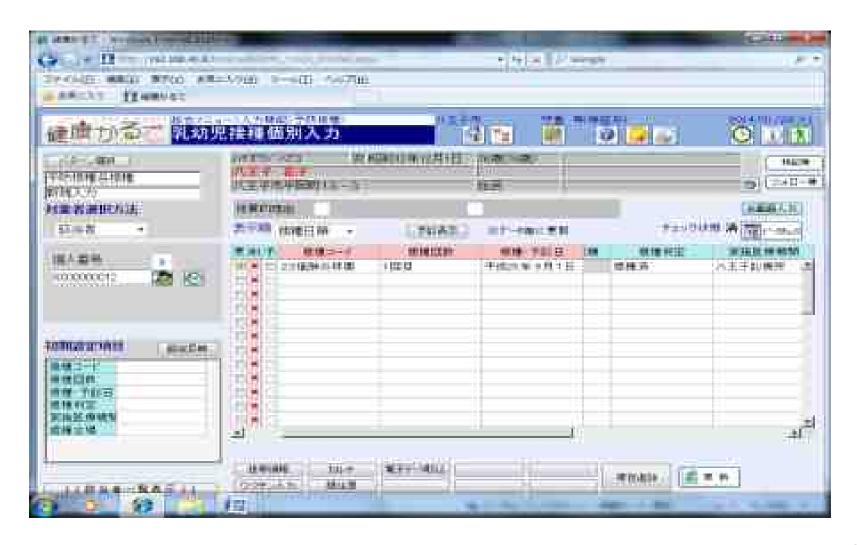
【送付履歴の管理】

帳票出力時に事業名、送付日を登録。照会画面で確認。



【予防接種記録の入力】

種別、接種日、実施医療機関等を入力(入力候補から選択)。



【個人総合照会】登録された予防接種記録を確認。



今後の課題

 対象者への周知 〈現状での対応〉 広報、ホームページ、ポスター 医療機関でのチラシ配布 〈今後の課題〉 テレビコマーシャルなど(国から)

• 接種歴の確認(再接種を行う場合の間隔の確認)

〈問題点〉

市の助成接種以外での接種歴の把握が困難 転入者の他市町村での接種記録が確認できない

〈現状での対応〉

医療機関での確認(カルテや問診による聞き取り)

本人による接種記録の保管(接種済証など)

〈今後の課題〉

社会保障・税番号制度等の活用による全国統一仕様での記録管理

定期接種対象年齢外の方への任意接種の助成 〈課題〉

> 任意接種の助成では対象であったが、定期化で対象外 助成接種を行った場合の定期接種と任意接種の違いの説明

予防接種制度改正の早期化(十分な準備期間が必要) 〈現状〉

市財政担当は法令改正や国の通知がないと予算化しない。年度途中の補正予算は財源確保が厳しい。

〈要望〉

市町村の当初予算編成時期までに法令改正を行い、十分な準備期間をおいて施行していただきたい。